

視察報告

第1 常任委員会

平成30年11月6日 滋賀県東近江市

○東近江市立能登川病院の指定管理について

土岐市立総合病院の指定管理化の方向に伴い、先進地である東近江市の状況を参考にするため視察を行いました。

東近江市立能登川病院は、慢性的な医師不足・経営状況の悪化などによる病院存続の危機に瀕し、平成27年4月から地元の医療法人社団昂会が指定管理者となり、地域の救急医療及び市の財政等に貢献されており、今後の土岐市の病院のあり方について大変参考になったと思います。



△東近江市視察



△綾部市視察

平成30年11月7日 京都府綾部市

○あやちゃん健康ポイントについて

市民の健診率が低下している中、健康ポイント制度の取り組みを行い、健診率の増加を推進している先進地の状況を参考にするため視察を行いました。

あやちゃん健康ポイントは、各種健康診査の受診、教室や社会参加、健康イベントへの参加などでポイント(最大1000ポイント)をため、たまったポイントは商品と交換できる制度で、病気の早期発見や生活習慣病を予防することを目的とし、特定健診受診率の向上を目指しています。土岐市においても、受診率向上に向けて大いに参考になったと思います。

第2 常任委員会



△生駒市役所

平成30年11月5日 奈良県生駒市

○道路通報サービスについて

老朽化したインフラを、スマホを使って市民から直接通報してもらい、速やかな対応をすることを目的とした事業を視察した。道路、街路灯、カーブミラー、ナラの立ち枯れなど項目を絞って実施されていた。通報された時点で、状況・位置が把握できる点は優れているが、問題もあるようであった。市域が広い土岐市でも適切なソフトが開発されれば、利用したいシステムであった。

平成30年11月6日 大阪府羽曳野市

○施設一体型義務教育学校「はびきの埴生学園」について

特色ある教育を目指して幼小中一貫教育制度を全中学校区に採用されていた。今回視察した「はびきの埴生学園」は一貫校から義務教育学校として開始された学校であった。学校の組織が一つになることは、教育の方向が明確化される、教員を効率的に配置できるなどメリットが多くあり、幼稚園3年、義務教育9年を一貫して実施することは、これからの教育の一つの選択肢でもある。



△はびきの埴生学園